

2019年4月12日

1号機主排気ダクト継手部からの空気の漏えいについて
(管理区域外への放射性物質の放出なし)

東京電力ホールディングス株式会社
福島第二原子力発電所

1. 不適合の概要（発生状況）

本日午前10時45分、1号機主排気ダクト*¹継手部の点検を実施していたところ、当該継手の2箇所から、建屋換気空調系の空気が漏えいしていることを当社社員が確認しました。

2. 対応状況

当該箇所については、補修が完了し、準備が整い次第、建屋換気空調系を運転します。

3. 安全性、外部への影響

当該箇所周辺の表面汚染密度および空気中の放射性物質濃度を測定した結果、検出限界値未満*²であり、プラント内における放射線モニタの値に異常はありませんでした。

あわせて、主排気筒モニタおよびモニタリングポストの指示値に有意な変動はないことから、本事象による外部への放射能の影響はありません。

以上

○添付資料

福島第二原子力発電所 現場概略図

*1 主排気ダクト

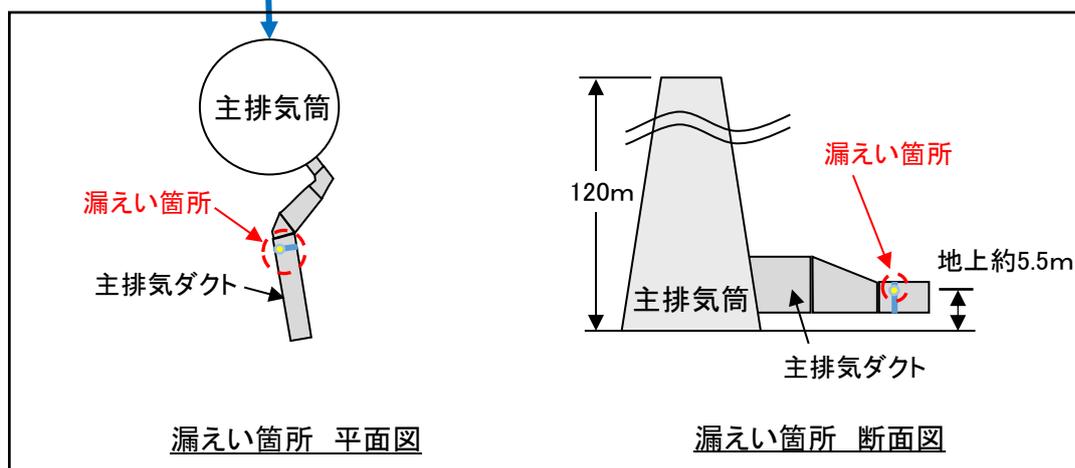
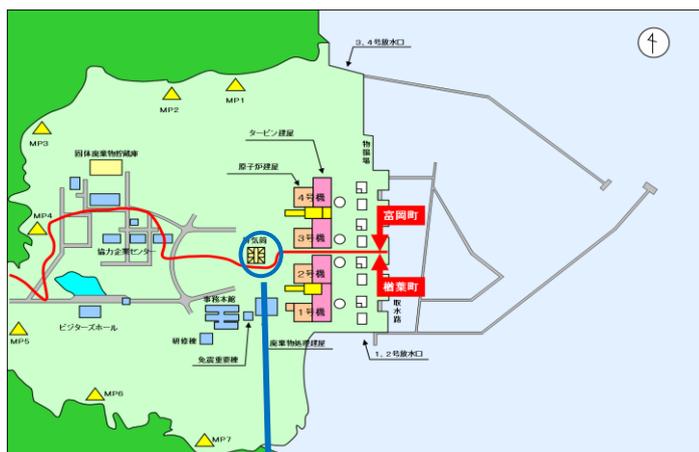
原子炉建屋やタービン建屋等の排気を主排気筒に送る空調用ダクト

*2 検出限界値

(表面汚染密度) 1.9×10^{-1} ベクレル/cm²

(空気中の放射性物質濃度) 5.4×10^{-6} ベクレル/cm³

福島第二原子力発電所 現場概略図



漏えい箇所(拡大)

補修後

